

親子聖書日課

NO.1626 2019.11/24-30 名前

[日]主を呼び求めるなら、誰の声でも聞かれるのではありません。「主の慈しみに生きる(主に従う)人」の声を聞かれます。日頃から「ふさわしい献げ物」を主に献げていますか。まず自分自身を主に献げ、主により頼むなら、必ず、祝福されます。

[月]人の弦きを聞くのは嫌ですが、神は私達の弦きを聞いて下さいます。ですから、人にではなく、神に弦きましょう。それも「朝ごとに」がよいです。さわやかな一日を過ごせます。勿論、弦きだけではなく、主の御声を聞くことも忘れないで下さい。

[火]ダビデは自分の犯した罪や病気に対して、率直に助けを求めます。「嘆き悲しむ」「嘆き疲れた」とは、涙を流して悔い改めることです。主は悔い改めたら、心を軽んじられません。反省ではなく、心の底から悔い改める者の祈りは聞かれます。

[水]ダビデは敵に対する報復を、自分の怒りではなく、神の怒りに任せました。主は全能で義なる方ですから、どんな悪の攻撃からでも守って下さいます。常に祈り、「主を避けどころ」としましょう。神の助けなくしては、悪には打ち勝てません。

[金]大自然の中にいると、人間はどれほど小さな存在であるかがわかります。しかし、神は無力でちっぽけな人間に心を留められ、神の栄光と威厳を与えられました。だから、自分の無力さを嘆くことはありません。むしろ、偉大な神を誇りましょう。

[金]自分が忘れられることほど辛いことはありません。しかし、心の貧しい人は、決して主に忘れられません。それは主の救いを必死で求めるからです。私達は主に覚えられていますから、恥も外聞も捨てて、ひたすら主に叫び求めましょう。



[土]神は遠く離れて、私のことなど少しも顧みてくれないと思うことはないですか。しかし、悩みの時こそ、神は近くにおられます。信仰は感情によるものではありません。御言葉を信じて、聴き従うところから始まります。聖書日課に励みましょう。

	聖書	問題	答え
日	詩編 4:1-9	どんな献げ物をささげて主に依り頼むべきですか。	
月	5:1-13	いつ、私は御前に訴え出て、主を仰ぎ望んだらよいですか。	
火	6:1-11	主は私の何と何を聞き、私の祈りを受け入れて下さいますか。	
水	7:1-18	私の神、主よ、あなたを何としますか。	
木	8:1-10	神はどのようなものとして人を造られましたか。	
金	9:1-21	どんな人の叫びを、主はお忘れになることはないですか。	
土	10:1-18	何に苦勞と悩みをゆだねる人を顧みてくださいますか。	
感想と祈りの課題			